



セブン&アイグループ 6 社は「ちば共創都市圏」の活性化を推進します。

千葉市・市原市・四街道市とセブン&アイグループ 6 社 『包括広域連携協定』を締結

～農業・食品・観光関連分野の成長産業化や人口減少に伴う地域的な課題解決を目指します～

千葉市（市長：熊谷 俊人）、市原市（市長：小出 譲治）、四街道市（市長：佐渡 斉）と株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：三枝 富博）、株式会社セブン・イレブン・ジャパン（同、代表取締役社長：古屋 一樹）、株式会社そごう・西武（同、代表取締役社長：林 拓二）、株式会社ヨークマート（同、代表取締役社長：大竹 正人）、株式会社セブン&アイ・フードシステムズ（同、代表取締役社長：小松 雅美）、株式会社セブン&アイ・クリエイトリンク（同、代表取締役社長：近藤 悦啓）は、2018 年 7 月 12 日（木）、「東京」でも「地方」でもない新しい価値観を共に創る「ちば共創都市圏」における、一層の活性化と市民サービスの向上に資することを目的に『包括広域連携協定』を締結いたしました。セブン&アイグループ 6 社と複数の地方自治体との包括広域連携協定の締結は初めてとなります。

記

1. 協定の名称 『包括広域連携協定』

2. 協定締結日 2018 年 7 月 12 日（木）

3. 協定の目的

千葉市・市原市・四街道市は、房総半島への玄関口に位置する県内交通の要衝となる地域であり、通勤や商業といった人の流れの面で強いつながりがあることから、この 3 市を含む圏域を「東京」でも「地方」でもない新しい価値観を共に創る地域として「ちば共創都市圏」と位置付け、今後の人口減少に伴い予測される経済規模の縮小や、少子化・高齢化などに伴う様々な地域的な課題へ対応していくため広域的な連携を進めています。

セブン&アイグループ 6 社は、総合スーパー、コンビニエンスストア、百貨店、レストランといった多様な業態と、全国的な販売ネットワークにより消費者に対して様々なサービスを提供しております。このグループ 6 社の機能・資源を横断的に活用することにより、「ちば共創都市圏」における地域的な課題の解決を図ることを目的として包括広域連携協定を締結します。

4. 連携事項

- (1) 市産品の販売促進、地産地消の推進に関すること。
- (2) 市民の健康増進、食育及び食の安全に関すること。
- (3) 高齢者の見守り活動、高齢者支援と中・高齢者雇用に関すること。
- (4) 障害者の支援に関すること。
- (5) 子育て支援及び青少年の健全育成に関すること。
- (6) 災害対策、防災、防犯に関すること。
- (7) 環境対策、緑化推進に関すること。
- (8) 商業・観光の振興に関すること。
- (9) その他、地域経済活性化、及び、市民サービスの向上に関すること。

■店舗数 ※2018 年 6 月末現在

社名	業態	3 市内店舗数
(株)イトーヨーカ堂	総合スーパー	5 店舗
(株)セブン・イレブン・ジャパン	コンビニエンスストア	238 店舗
(株)そごう・西武	百貨店	1 店舗
(株)ヨークマート	食品スーパー	3 店舗
(株)セブン&アイ・フードシステムズ	レストラン（デニーズなど）	19 店舗
(株)セブン&アイ・クリエイトリック	商業施設開発・運営など（アリオ）	2 店舗

具体的な取り組み ～農業・食品・観光関連分野の成長産業化～

当面の連携事項については、次の取り組みを予定しています。今後の取り組みは、分野別の協議を進め取り組みの推進を図って参ります。

1. 取り組みの方向性について

3 市地域は約 133 万人（千葉市：約 97 万人、市原市：約 27 万人、四街道市：約 9 万人）の人口規模を擁する大きな消費地であり、また様々な農産物の生産地であるとともに、豊かな自然資源を有する観光地としてのポテンシャルを持っており、更に房総半島への玄関口に位置していることから、千葉県内の多様な物産と東京という大消費地とを結ぶ流通拠点として好立地でもあります。

そこで、セブン&アイグループの持つ“全国的な販売ネットワーク”、“商品開発力”、“情報発信力”を活用した、「3 市地域の製品の域外への発信・販売」と「『食』をキーにした域外からの観光誘客」により、農業・食品・観光関連分野の成長産業化を目指します。

- ◆ 3 市地域製品のセブン&アイグループ 6 社での取扱量の拡大
- ◆ セブン&アイグループ 6 社が持つ消費者の嗜好等の情報に基づく 3 市製品の価値向上
- ◆ セブン&アイグループ 6 社の域外店舗での商品販売と、それと連動した観光プロモーションによる 3 市地域への観光誘客
- ◆ 将来に向けて 3 市地域における農業生産、食品製造・流通・物流等に関する取り組みについて、セブン&アイグループ 6 社と協議・検討

2. 主な取り組み予定

(1) 3 市商品の商品力向上

セブン&アイグループ 6 社で取り扱われる商品ラインアップの拡大へ向けて、商談会等の実施を通じて、3 市地域らしさのある商品の発掘・育成へ向けた取り組みを進めます。

その上で、3 市商品の全国的な知名度の獲得へ向けて、『千葉市・市原市・四街道市とセブン&アイグループ 6 社がお勧めする代表商品』を選出し、多くの観光客の来訪が予測される 2020 年に合わせて発表できるよう取り組みを進めます。



2018 年 7 月 5 日（木）商談会

イトーヨーカ堂、ヨークマート、セブン&アイ・クリエイトリック、そごう・西武と地元企業等約 50 社が参加

(2) 平成 30 年 9 月に『包括広域連携協定』締結を記念した取組みを予定しております。

※一部変更になる可能性があります。

ア) 千葉市、市原市、四街道市における、(株)イトーヨーカ堂、(株)ヨークマート、(株)セブン&アイ・クリエイトリンク、(株)そごう・西武の店舗で、地域で産出・販売されている商品を取り揃えた“地域産品フェア”を開催。

イ) (株)セブン・イレブン・ジャパン

3 市の地域らしさを感じられる記念商品の販売。

ウ) (株)セブン&アイ・フードシステムズ

地域の「食」と「観光」に関する様々な情報を、デニーズやポッポなどのお店を通じて発信。

以上